

詩集

木のぼりむすめ

扶川 茂



扶川 茂（ふかわ しげる）

1932年 徳島県に生まれる。年少のころから詩を作っていたが、1965年以来、村野四郎に師事、村野が没するまで10年間、直接の影響を受ける。

詩集『家族』『シジボスの石』『教室詩集』など6冊。詩誌「方舟」「舟」「ラルゴ」同人、「戯」（そばえ）主宰。日本ペンクラブ、日本現代詩人会会員。

徳島県板野郡板野町犬伏 ☎ 779 - 01
☎ 08867 - 2 - 2807

創作文学シリーズ詩歌

*

詩集・木のほりむすめ ©1984

昭和59年11月12日・初版発行

著者・扶川茂

印刷所・株式会社方英社

製本所・カノマタ製本

発行者・門馬正毅

発行所・かど創房

埼玉県越谷市大成町8-2520-44 ☎ 343

☎ 0489-86-8800 振替東京6-32461

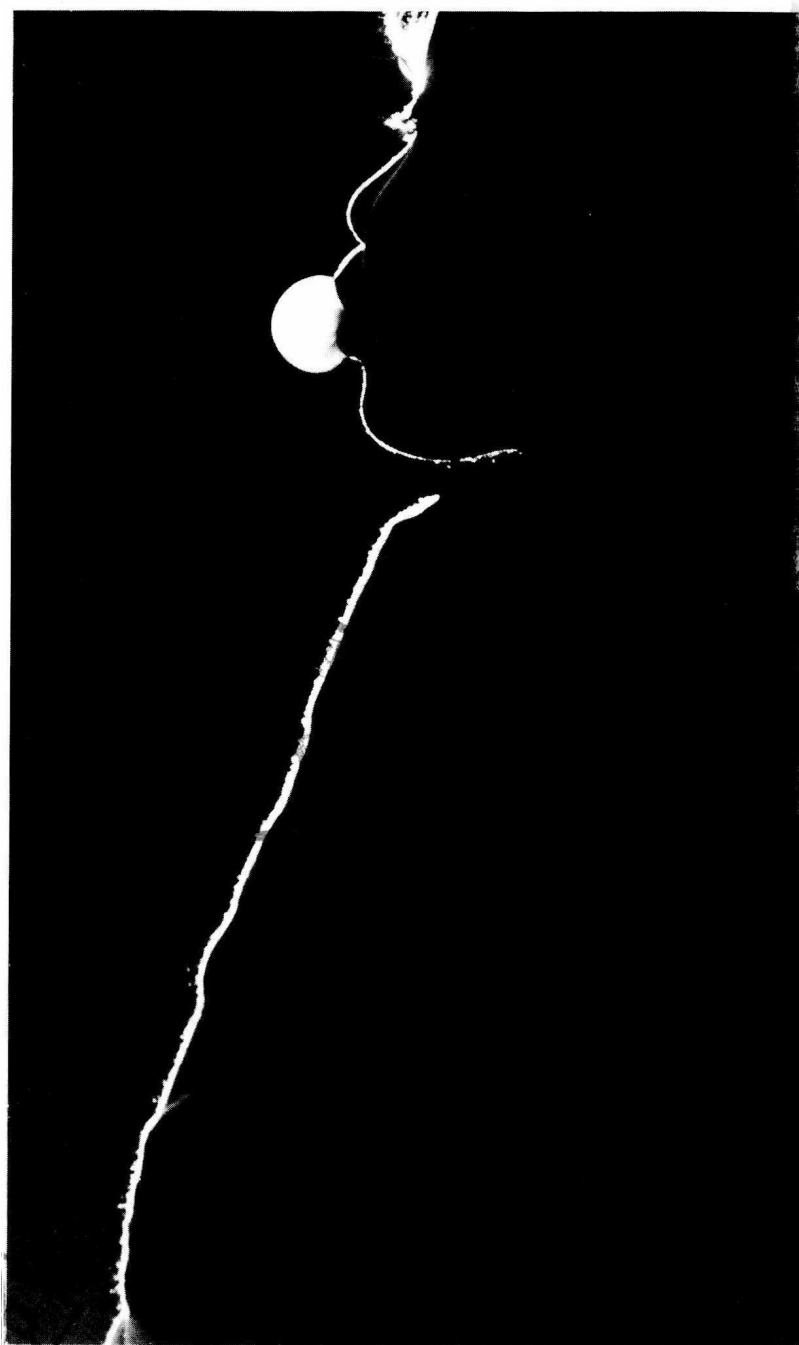
NDC911 / ©1984 / 111p / 23 × 16cm

ISBN4-87598-020-5 C8092

＜検印省略＞ 乱丁・落丁本はおとりかえします。
定価はカバーまたはオビに表示してあります。

詩集 木のぼりむすめ

扶川 茂



写真

*

表紙・大貫茂

本文・鈴木茂

©1984

目次

序詩^{じょし} コスモス 8

I 教室

タニシ 13

ドッキング 14

わたしたちはひつつき虫
18

三年生 20

朝の会 23

腕うでのなか 26

先生 30

夜あけ 32

マコト 36

うんそく(運足) 38

たこあげ大会 40

土曜日 42

Ⅱ ゆうこ

木のぼりむすめ 46

倒立とっ 48

目かくし	五月晴 さつきばれ	花輪 はなわ	犬	バレン タイン	コー ヒー	残雪 ざんせつ	わらい	まちが い	授業 じぎょう	跳躍 ちやうやく	悲歌 ひか	★
84	80	78	76		69	66	64	62	58	54	51	★
				72								

肩かた
車ぐるま
86

Ⅲ 教きょう師し

一九八〇年夏
90

さし絵
92

熟うれる
94

山登り
96

指切り
98

非ひ望ぼう
101

終章 秋
106

あとがき
108

序^{じょ}

詩^し



コスモス

自分のことばに酔^ようて

しだいに はげしい声になっ
ていく

ひとの

そばで

自分の空に

うつくしくのぼりつめて咲^さいた

コスモスが

かぞえてみたら

四十六輪りん

だまって かすかにゆれながら

ひとつの

ことばを

きいている

その 根元ねもとを見ると

しっかり土から出ていて

意外に 太い

I
教室



タニシ

——つたえの作文——

タニシが いっぱき

八月の午後

稲田の水口いなかみなくちちかくを

ゆっくりゆっくりはっていました

けれど よく見ると

それは

とおくはるかな川に向かっているのですた

ドッキング

ぼくは両肩りょうかたをつかまれ

ぐいっと引きよせられる

おでこが先生のおでこに

ゴツン とドッキングする

そしたら そのまんま

先生の一つ目をじいっと見ておらねばならん

そのあいだ 先生は

指先で ぼくの頭の横と

自分の頭の横とを かわりばんこに

いつまでもトントンたたくんだ

ぼくが

——入った

と言うまで

すると先生は

——ヒデキえいせい衛星

何が入った ドウゾ

と聞き返す

そしたら ぼくが

——ココロのエネルギーが入った ドウゾ

と答え それからもう一度

——ホントウカ ドウゾ

——ホントウデス ドウゾ

と通信つうしんしなければ